

- Ⅴ. "Cross Sections for Fission of Bi^{209} , U^{235} , U^{238} , Nb^{237} , and Pu^{239} by 1-9 GeV Protons" by E.S.Matusevich and V.I.Regushevskii (translated from Russian by Stephen J.Amoretty), BNL-TR-235, (1968)

加藤 和明 (日本原子力研究所)

原論文は、ソ連の *Yadernaya Fizika* (Journal of Nuclear Physics) 7, 1187~1189 (1968) に発表されている。Dubna の synchrophasotron を使つて行なつた実験の報告であり、ガラスの中に残された核分裂生成物の定量を手段としている。

- Ⅵ. "Neptunium (n, f) and Sulfur (n, p) Cross Sections" by P.F. Rago and N.Goldstein (U.S.Naval Radiological Defense Laboratory, San Francisco, California, U.S.A.), Health Physics 14, 595-597 (1968)

加藤 和明 (日本原子力研究所)

$\text{Np}-237$ の核分裂断面積を、fission foil-detector 法により求めている。測定したエネルギー領域は 12.5 MeV ~ 17.5 MeV であり、既知の $\text{U}-238$ の核分裂断面積を基準に評価が行なわれている。硫黄の pellet をも同時に照射することにより、 $^{32}\text{S}(n, p)$ 反応の断面積も同時に評価された。